

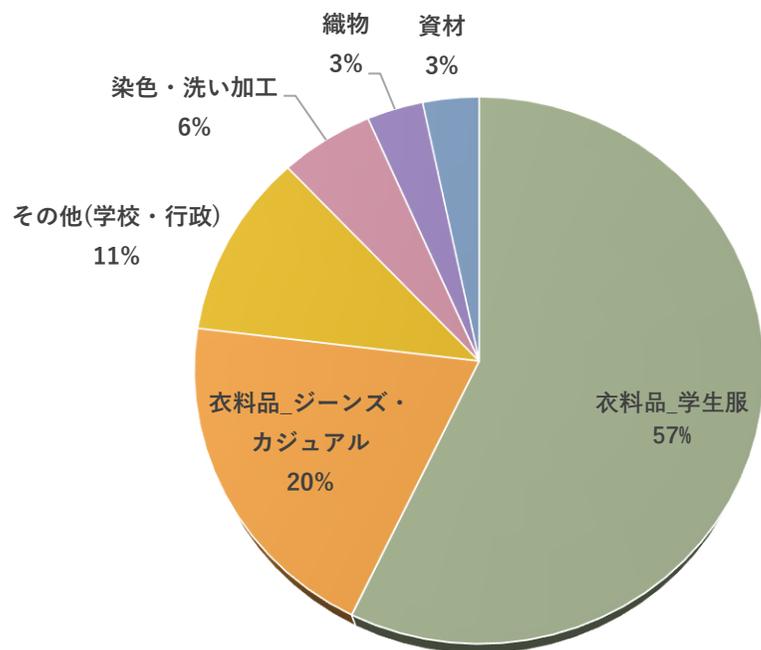
# 岡山の繊維産地の将来に向けて アンケート調査結果

岡山繊維産地協議会

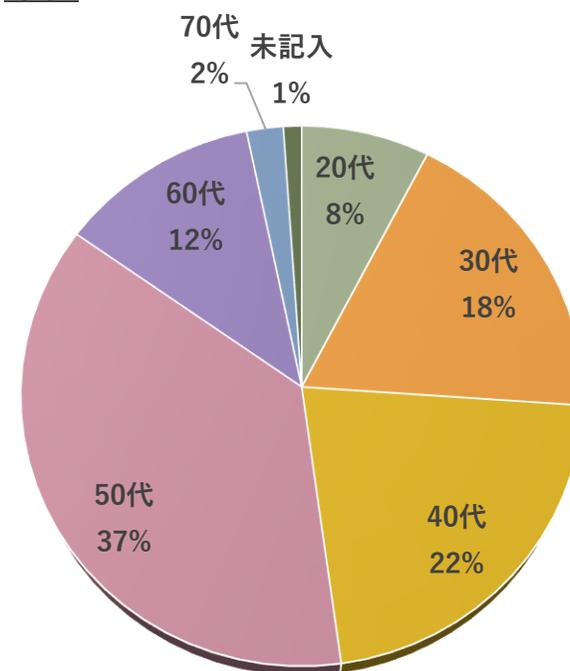
# アンケート概要

- (1) 実施期間 令和5年8月31日 ~ 令和5年9月15日
- (2) 実施方法 郵送及びwebアンケートフォーム
- (3) 対象者数 岡山県内の繊維関連事業者 ほか
- (4) 回答者数 94名 (25社)
- (5) 回答者の属性

## ● 専門分野



## ● 年代



## ●生産体制:

- ・集積地(31)
- ・一貫生産(19)
- ・企業間のつながり(12)
- ・生産設備(4)
- ・小ロット生産(2)
- ・生産の安全性(1)
- ・分業化ができている(1)
- ・各工場との協力体制(1)
- ・検査機関や組合組織がある(1)
- ・対応力に速さ(1)
- ・生産体制(1)
- ・リードタイム短縮(1)
- ・納期対応(1)
- ・資材調達の速さ(1)
- ・社内各部署の一体感(1)
- ・競合や他社と影響しあえる(1)
- ・個人で製作可能(1)
- ・仕入れ商社の充実(1)

## ●市場へのアプローチ:

- ・知名度(8)
- ・ブランド力(7)
- ・提案力(1)
- ・イベントがある(1)
- ・集客力(1)
- ・シェアの高さ(1)
- ・宣伝効果(1)
- ・流行に左右されない(1)
- ・安価で繊維物が手に入る(1)

## ●技術力と専門性:

- ・技術力(22)
- ・専門性(1)
- ・技術と研究の分担(1)

## ●品質と信頼性:

- ・高品質 (= 安心感) (9)
- ・生産に必要な人材、プロの存在(7)
- ・独創的な高付加(1)
- ・日本製であること(1)

## ●労働力と人材獲得:

- ・若年層の人材(2)
- ・女性の就業率の高さ(1)
- ・経験者の雇用先がある(1)
- ・顧客の幅広さ(1)
- ・人材の多さ(1)
- ・雇用の安定(1)

## ●教育と知識:

- ・学生の学習機会(1)
- ・専門知識が得られる(1)
- ・資格制度の確立(1)
- ・情報量(1)
- ・経験、知識(1)

## ●製品:

- ・生産品目の多さ(6)
- ・ジーンズ(4)
- ・モノづくり(3)
- ・デニム(2)
- ・学生服(2)
- ・制服(1)
- ・真田紐(1)
- ・商品の魅力(1)
- ・デニム・学生服・ワーキング(1)
- ・素材(1)

## ●地域と環境:

- ・災害が少ない(5)
- ・住みやすい(1)
- ・栽培向きの土地柄(1)
- ・温暖な気候(1)
- ・セミナーや展示会を行える会場がある(1)
- ・インフラが整っている(1)
- ・衣料品の生産地(1)

## ●その他:

- ・歴史(15)
- ・行政の支援(2)
- ・地域文化(2)
- ・日本を代表する企業の存在(1)
- ・業界の大手が多い(1)
- ・多様性(1)
- ・活力(1)

## ●人口と人材関連:

- ・人材不足(29)
- ・高齢化(22)
- ・少子化(2)
- ・実習生の導入に頼っている(2)
- ・少子高齢化(1)
- ・人口比率が低い(1)
- ・人口減少(1)
- ・若手技術者の不足(1)
- ・人の流出(1)
- ・他社への社員流出(1)

## ●市場と販売:

- ・斜陽産業(5)
- ・販売力(2)
- ・提案力(1)
- ・商品開発(1)
- ・流行への対応(1)
- ・ニーズへの対応(1)
- ・マーケティング力(1)
- ・EC市場の運営力(1)
- ・景気動向での仕事量減少(1)
- ・需要の低迷(1)
- ・遠方への出荷(1)
- ・競争が激しい(1)
- ・流通(1)
- ・他地域への販売ルート(1)
- ・販売に必要な情報不足(1)
- ・偏った情報(1)

## ●企業と経営:

- ・発信力(12)
- ・企業の連携・結束力(4)
- ・閉鎖的(1)
- ・保守的(1)
- ・強みに頼りすぎている(1)
- ・国内の市場を見過ぎ(1)
- ・ブランド作り(1)
- ・競合社が多い(1)
- ・集中しすぎる(1)
- ・経営基盤が弱い(1)

## ●地域と環境:

- ・交通アクセス(4)
- ・立地(3)
- ・用途地域の制限で工場の改装や改築、増築ができない(1)
- ・産地外から情報が入りづらい(1)
- ・他地域の情報(1)
- ・一部地域に偏りがある(1)
- ・繁忙期の一極集中(1)
- ・観光地が少ない(1)
- ・デニムの観光施設が少ない(1)
- ・産地間のつながりの薄さ(1)

## ●労働環境と労働力:

- ・低賃金(6)
- ・労働環境(1)
- ・体力仕事が多い(1)

## ●生産と技術:

- ・技能継承(3)
- ・デザイン力(2)
- ・工場の減少(2)
- ・工場の閉鎖(1)
- ・システム化(1)
- ・機械化の遅れ(1)
- ・機械の老朽化(1)
- ・生産の下降(1)
- ・加工賃の比率によるコスト高(1)
- ・分業になっている(1)
- ・原価計算(1)
- ・高コスト生産(1)
- ・納期への対応(1)
- ・ものの考え方が古い(1)
- ・外注の減少(1)
- ・海外の有名ブランドに工場を抑えられている(1)

## ●コスト:

- ・輸送コスト(2)
- ・物価高騰(2)
- ・資材高騰(1)
- ・コスト高(1)
- ・コスト競争力が弱い(1)
- ・価格高騰(1)
- ・製品の値段高騰(1)

## ●国際競争と海外市場:

- ・海外戦略が立てられてない(1)
- ・海外産地との差別化(1)

## ●産業特有の課題:

- ・ゴミの排出量の多さ(1)
- ・防災意識の低さ(1)
- ・デニムの印象が強く、他のイメージがつきにくい(1)
- ・モノづくりの地位の低さ(1)
- ・都市部との流行にズレや時間差がある(1)
- ・ジーンズの需要が減るとダメージが大きい(1)
- ・新規参入が難しい(1)
- ・廃業(1)
- ・固定観念にとらわれる(1)
- ・知名度(1)
- ・デジタル化(1)
- ・インバウンドが得られない(1)
- ・サステナビリティの仕組み作り(1)
- ・薄手やストレッチのアイテムは得意じゃない(1)
- ・原料は海外に依存(1)
- ・閑散期と繁忙期の格差(1)
- ・発信する服種が少ない(1)
- ・活気がない(1)
- ・産地を強く出すと他に目がいきにくい(1)
- ・他地域・他社の知識が乏しい(1)
- ・競合他社を意識しすぎる(1)
- ・保守的で堅いイメージ(1)
- ・中小企業が多い(1)
- ・新規を積極的に受け入れない姿勢(1)
- ・足の引っ張り合い(1)
- ・他県民からの印象が薄い(1)
- ・共倒れ(1)
- ・他地域との比較(1)
- ・規模(1)

## ●海外:

- ・海外の大手メーカー
- ・海外の大手アパレル
- ・価格の安い大手海外メーカー
- ・アジアのアパレル企業
- ・海外の製品
- ・海外の安価製品
- ・海外からの輸入品
- ・海外の安価な大量生産品
- ・海外からの輸入
- ・輸入品の増加
- ・海外での生産
- ・海外への技術流出
- ・海外への仕事流出
- ・海外との価格競争
- ・競合他社の価格競争や加工賃の上昇で海外へ
- ・海外市場
- ・海外の格安アパレル市場
- ・海外の安価製品の流入
- ・生産工場の海外の海外への移転
- ・海外シフト
- ・海外生産のデザイン性
- ・中国

## ●消費者・消費量:

- ・需要の低迷
- ・国内消化の低迷
- ・市場規模の縮小
- ・疫病などによる生活様式の変化
- ・多様性社会による世界の変化
- ・消費者の価値観の変化
- ・消費者の趣味嗜好の多様化
- ・若年層の繊維産業への関心の薄さ
- ・服に対する興味の少ない世代
- ・若者の繊維産業離れ

## ●その他産地・メーカー・製品:

- ・大手の安価な衣料メーカー
- ・他衣料の大手
- ・低価格の量販店
- ・認知度が高く、大量に安くものを作る企業
- ・大手メーカーの価格
- ・大量生産の向上している品質と低価格
- ・大手アパレルの参入
- ・低価格製品
- ・価格帯の異なる商品の大量流出
- ・大手アパレルの安価な大量生産
- ・安いジーンズのクオリティが上がってきていること
- ・大量生産企業を有する産地
- ・福山市
- ・新規参入の拡大
- ・他の強い産地
- ・合織、ニットを得意とする北陸
- ・若手起業家が起こしたブランド
- ・新技術開発力のある企業を有する産地
- ・自家生産を行う小売りチェーン
- ・ネームバリューの高いブランド品
- ・品質安定力のある量販店
- ・ファストファッション
- ・各工程を一貫でできる場所が増えること
- ・すべての製品の垣根が無くなり競合が激しくなる

## ●物価・コスト:

- ・価格高騰
- ・原材料の高騰
- ・高コスト
- ・価格（コスト）
- ・価格競争
- ・価格に対する世間の圧力
- ・価格の間違った認識
- ・価格の抑制
- ・円高
- ・資材の奪い合い激化

## ●人口・人材:

- ・賃金
- ・低賃金
- ・安い賃金形態
- ・他社業種の賃金
- ・繊維業界の低賃金構造
- ・人材不足
- ・後継者不足
- ・離職者の多さ
- ・若者の継続的雇用
- ・他県（人材流出）
- ・人口減少
- ・少子化
- ・少子化による市場の縮小
- ・高齢化
- ・高齢化による衰退
- ・高齢化でサプライチェーンが崩れていく
- ・産地全体の従事者の高齢化と海外研修制度の労働条件改定
- ・技術の衰退
- ・国内の製造技術の衰退
- ・技能継承
- ・技術の伝承の困難化
- ・外国人技能実習生問題
- ・海外実習生へ頼っている現状

## ●その他:

- ・工場減少による生産率の高さ
- ・出荷制限
- ・新しいモノづくりの型
- ・一部価値観や価格の誤解
- ・競合を生かす
- ・グローバルサウス各国
- ・他業種の参画
- ・他業種の参入
- ・倒産
- ・日々向上する化学繊維
- ・他の魅力ある職種
- ・メルカリ（小口対応を個人レベルで行っている生地屋や小売店）
- ・物があまっていること
- ・モノづくり周辺機能の衰退
- ・輸出の低下
- ・よそ者・若者を排除する風潮
- ・リモートワークなどの働き方の変化
- ・流行や少子化など社会情勢で産地全体が影響を受けやすい
- ・行政の無理解・無関心
- ・国内縫製キャパ不足
- ・差別化がでなくなる
- ・新しい技術による生産
- ・知名度・ブランドに苦戦
- ・働く人に還元できる価格展開力が弱い
- ・日本製のクオリティの低下
- ・縫製等技術者の働く環境の競争力を上げること
- ・機器の劣化
- ・自然災害
- ・技術を海外に使われること
- ・知識の海外流出

## ●人材確保・人材育成

課題	解決策
技能実習生に依存したものづくり	→ 賃金を上げ、従業員が自然と働きたくなる職場づくりをする
後継者不足	→ 工場見学。もの作り体験会
後継者不足	→ 人材確保の為の繊維の魅力を考える
後継者問題、人材不足	→ 外国人の活用
工場の減少、人手不足	→ 低賃金の改善、アピール、国内人材の掘り起こし
市場・生産者の減少	→ 市場開拓、生産者の育成、生産性の効率化
資金不足。人不足	→ ブランディング
次の世代への継承	→ 働きやすい環境
実習生頼みの現場（そもそも日本人のなり手が少ない）	→ 日本人技術者の育成（見合う賃金）
若い人材の育成、労働力の確保	→ SNS等を利用しての魅力発信
若者の繊維関連会社への就職率上げ	→ 働きやすい労働環境（休暇取得）
若年層の確保・育成	→ 賃金水準の底上げ・育成プログラムの作成
若年労働者の確保と教育	→ 地域イベントで若年層を対象とした体験型ワークショップ開催

## 産地の現状の課題とその解決策②

課題		解決策
若年労働者不足	→	働きやすい環境
従業員の将来的な確保	→	働きたいと思える職場作りとその発信
従事者の不足	→	人材育成
少子化	→	政府の政策
人材	→	魅力発信
人材の確保。技術継承	→	人材に代わる設備投資
人材の確保と育成	→	産地ブランドの促進、繊維業界の体質改善（給与UP、職場環境の改善など）
人材確保	→	働きやすい環境作り。岡山=学生服の認知度アップ
人材確保、育成、産地の魅力の発信、アピール	→	国内縫製キャパの拡充
人材確保、人材育成	→	手に職がつくプログラムの作成、余裕をもって生活していける給料で一生の仕事にできるというイメージをつける
人材不足	→	日本人雇用
人材不足	→	システム化、設備投資
人材不足	→	賃金UP
人材不足	→	情報発信、アピール

## 産地の現状の課題とその解決策③

課題	解決策
人材不足	→ 産業を安定させ、働きがいをつくる
人材不足	→ 他へのアプローチの仕方
人材不足	→ 県外・外国から来てもらう
人材不足、高齢化	→ ?
人手不足	→ 移住者の誘致
人手不足	→ 職場体験の受け入れ
人手不足・低賃金	→ 技術に見合った工賃設定
生産側の人手不足解消、安定して働き続けられる体制	→ 人材確保だけでなく、働いている人のライフステージが変わっても働き続けられる仕組みや制度（離職率を下げる）
付加価値を高めた商品展開、人材確保・育成	→ 付加価値を高めた商品展開により、賃金の上昇や福利厚生の実施を図り人材獲得につなげる
縫製現場の生産の確保	→ 他県含めた工場の開拓、維持
縫製工場と人員の減少	→ 賃金の向上。縫製のスキルアップできる施設増加
労働者不足の改善。高付加価値商品の良さを消費者に理解してもらう	→ 賃金など労働条件の改善。ブランド化してアピール
労働力不足	→ 機械化・自動化の推進
技術の伝承、若者への働く魅力	→ ?

## 産地の現状の課題とその解決策④

課題	解決策
高齢化	→ 若者の就業率向上
高齢化。人手不足	→ 若い人が入ってくる魅力的なこと考えないといけない
高齢化と次世代の技術者の育成	→ 賃金格上げ、子育て世代の働きやすい環境、小・中学校への積極的な教育
高齢化による人手不足	→ 若手労働者の確保
高齢化による衰退	→ 働き手が集まる仕組み。移住制度など
高齢化に伴う海外生産増加による産地空洞化	→ 若年層に魅力ある環境づくり、業界従事への積極的な家族参加
若年労働力不足。従業員の高齢化	→ 働きやすい環境をすること
少子化。高齢化	→ 学生服以外の物も作る
職人の高齢化	→ 技術や知識の伝承
高齢化、人手不足、技術継承	→ 賃金アップ、モノ作りが好きな人を呼び込む努力
後継者、技術者を増やす	→ ワークショップなどの体験をしてもらって、興味を持ってもらう。SNS発信
技術の継承・担い手不足	→ 若手の育成
産地の技術の継承	→ マイスター認定、その後のPR実践
若手への技術の継承	→ 人材育成

## 産地の現状の課題とその解決策⑤

### ●産地

課題	解決策
日本製をどうやって生き残らせるか？	→ 人口減少の中で、ロボット、海外の人材
多様性	→ 学生服の必要性
若者が魅力的に感じる未来への投資	→ 安心して教育を受け、未来設計化とブランド化
地場産業をどのように発展させていくか？	→ 外部との取り組み
ジーンズの人気がそれほど高くないこと	→ デニムの縫製のほかのアイテムを生かす
活気がない	→ 補助金、クーポンなど行政もバックアップする
観光地の活性化	→ ?
地域の活性化	→ ?
特定の企業のみ産地を盛り上げようとしている	→ 産地全体での取り組み、宣伝
繊維に関心がある人が少ない	→ 国内への岡山の繊維の広報活動
魅力アップ。自分たちの強みを見つける	→ 海外からの仕事を受ける
多様化する消費者嗜好への対応	→ 産地の技術力と品質を発信
縫製場の確保	→ 情報の共有

## 産地の現状の課題とその解決策⑥

課題	解決策
結束力	→ リーダーシップ、組織の強化
業界全体のまとまり	→ 強いリーダーシップと団結
ある程度の地産地消	→ ?
モノづくり機能が急速に失われているところ	→ 人材育成（縫製であればオペレーター育成）
人口減による市場の縮小	→ ?
産業としての魅力の低下	→ 事業として安定して続けられる環境
生産力の低下	→ 生産現場の活性化
電気代や人件費高騰	→ 作業の効率化と自動化、そしてAIを活用した事務作業の省力化により固定費を抑える
原材料価格や人件費など製造コストの急上昇	→ 希望上代を見直し、価格に見合う商品力を備え、市場にアピールをする
コストUPに対応した製品開発と販売ルートの開拓	→ ブランド化
技術力が評価されない現実	→ 縫製会社も減っている状況であるが、統一して標準価格をあげる
繁忙期のストレス	→ 入学時期の変更
小ロット化が進みすぎ生産が追いつかない	→ 機械化の推進

## 産地の現状の課題とその解決策⑦

### ●PR

課題	解決策
PR不足	→ 有名人の活用
デニムや学生服などの製造メーカーが多いが地方創生に活かせていない	→ 異業種とのコラボ、お土産やホテルなど観光と一緒にすることで岡山の知名度アップにつながる
観光地としての認知度を上げる	→ 繊維祭のようなイベントをふやす
高品質な商品や技術力がある岡山の繊維産業を多くの人にもっと知ってもらおう	→ 企業間連携、産学官連携、海外へのPRや異業種とのコラボなど
制服産地としてのアピールはほとんどない	→ 制服産地として企業をまたいだアピールを作成。業者・学校に紹介
発信力	→ SNSを使う

### ●サステナブル

課題	解決策
環境への配慮	→ サステイナブルの推進
環境に良いものを作っていく	→ 排水量の軽減、環境汚染の薬品の不使用

## 産地の現状の課題とその解決策⑧

### ●市場開拓・商品開発

課題	解決策
デザイン	→ まず自分たちが楽しんで挑戦してみる
今ある技術を活かして新しい取り組みが何か見出す	→ 従来のものでづくり以外で、日用品やペット用品だったり、住居など、あまり手を出していない分野にも各企業の強みを活かした企画開発をする

### ●DX

課題	解決策
DX化が進んでおらずいまだに手書き発注書やFAXによる受注が多い	→ DX化の推進と仕様書などの情報のデータ化

### ●海外

課題	解決策
輸出できる商品がない	→ 海外で評価される岡山産の商品を開発できるか

## 【人材確保・人材育成】

- ・ どうすれば若者（特に男性）が離職せずに継続して同じ会社で働き続けてくれるか
- ・ 技術者の待遇の改善
- ・ 高齢化
- ・ 最低賃金の上昇について
- ・ 児島での就職を選択してもらうには
- ・ 若い人への技術の継承をどのようにしていくか
- ・ 若手の育成
- ・ 若年労働者、技能実習生の教育
- ・ 職人達のいる街としての将来性
- ・ 人材育成プログラム、就業者の定着率UP
- ・ 人材確保を業界として取り組みをどのようにするか
- ・ 人材不足、配達のリードタイムによる納期対応の難しさ
- ・ 人材不足・少子化の問題をどのようにクリアにしていけるか？
- ・ 人手不足
- ・ 人手不足を解消するには
- ・ 生産工場の今後。賃金面や特定技能について
- ・ 生産者の増加、減少の歯止め、存続できる環境づくり
- ・ 生産力アップのための人材確保。設備導入の課題点
- ・ 繊維産業の次世代の働き手や担い手を増やしていく取り組み
- ・ 繊維産業の賃金アップ
- ・ 待遇を良くして若者が働きたいと思える職場
- ・ 知名度UP、デザイン力と技術者の育成
- ・ 地域で働きたい未来を担う若者の繊維産業に定着させるために何が出来るか？
- ・ 長期的な労働力確保と人材育成
- ・ 有能な技術を持った人材を集める

### 【産地】

- ・ジーンズ、帆布、そして真田紐など綿織物の魅力。児島の歴史。繊維製品の可能性
- ・スタートアップ。産地のブランディング。資金の調達
- ・デニムで児島を盛り上げよう
- ・ファッションセンターとして重点的に寄与すべきこと
- ・岡山の繊維を100年後に繋げるために今できることは何か
- ・外国人技能実習制度と産地の関わり方と今後
- ・学生服とは。学生服の未来について
- ・月新入学・産地内の垣根を超えた資源活用
- ・国は衣料品の国内生産について外国人労働者の違法労働のことばかり要請してくるが、このまま衰退して国内生産機能が縮小してしまってもいいと考えているのか
- ・今後の産地のあり方
- ・産地でのワークシェアの活性化
- ・産地における未来のものづくりについて
- ・産地の活性化
- ・産地の強みを活かして新しいものづくりを考える
- ・産地の現状とこれから
- ・産地ブランド化の推進（ジーンズソムリエや繊維マイスター制度の活用など）、倉敷ファッションセンターのような中間組織に関する他市の事例（役割、機能、在り方など）
- ・商品のターゲット層について
- ・児島産地ならではのアピールポイントとは何か、またその作り方、打ち出し方
- ・消費者のニーズ。学生服の必要性
- ・新規縫製工場拡充の可能性
- ・生産コスト
- ・生産現場の実情
- ・産地での国際見本市
- ・繊維業界の地位を上げるための取り組み
- ・繊維産業の活性化のためになにをするか
- ・繊維産業の活性化のための学（大学・短大）の役割
- ・繊維産業の発展
- ・縫製工場は生き残れるか？

### 【PR】

- ・「色々な課題毎に何かできることが有るか無いかを決定する。」「産地や産地企業の宣伝方法」など
- ・もっと広く繊維産業に興味を持ってもらうには？
- ・もっと人が集まる宣伝の仕方
- ・岡山での知名度を上げるためには・・・（特に若者）
- ・産地である児島の魅力をPRする方法
- ・産地で長く働き続けられる制度、改革について、人材確保のPRの仕方や体制
- ・繊維の街児島をいかにPRするか
- ・繊維産業の中でもデニムの方がメディアに取り上げられる事が多い為、学生衣料もアピールを考えて欲しい
- ・繊維産業の町児島を全国にPR
- ・繊維産地や働く魅力のPR方法。繊維企業の国際化・活性化
- ・働き方改革、女性管理職を増やす、服の魅力の発信
- ・魅力ある産業としての発信手段や方法

### 【連携】

- ・岡山県の繊維業界の連携
- ・岡山県内の異業種コラボ
- ・産学連携
- ・地域の産官学連携や政策支援について
- ・働き手が集まり活性化する為には
- ・如何に三備地区のネットワークを再構築するか

### 【海外】

- ・海外での競争力をどう強化するか
- ・海外では何が求められているか

### 【サステナブル】

- ・環境問題がモノづくりにどう影響してくるのか
- ・サステナブル

## 産地を象徴するキーワード

- ・”結”産地としての糸
- ・藍染
- ・青
- ・安心と信頼
- ・安心
- ・安全
- ・糸
- ・塩田
- ・岡山県産
- ・岡山城
- ・岡山発
- ・織物
- ・オンリーワンよりナンバーワン
- ・学生服・デニム
- ・学生服
- ・加工
- ・活気ある街に、働きたくなる環境の整備
- ・環境に配慮したものづくり
- ・技術の継承
- ・技術の伝承
- ・技術力
- ・絆
- ・吉備団子
- ・着古した学生服を原料まで戻し糸から再生し紡ぎなおす
- ・クイック
- ・空洞化
- ・くらしき・倉敷発
- ・高級
- ・高品質
- ・高品質児島ブランド
- ・高付加価値
- ・後楽園
- ・高齢化
- ・国産ジーンズ
- ・国産ジーンズ発祥の地
- ・国産デニム
- ・国内シェア70%「学生服のまち」児島
- ・国立公園
- ・KOJIMAブランド
- ・児島
- ・こだわり
- ・拘りより消費者ニーズ
- ・災害が少ない街
- ・真田紐
- ・ジーンズ
- ・ジーンズの聖地、
- ・ジャパングオリティ
- ・職人がイキイキと働く街
- ・職人の技術
- ・新世代の人材育成
- ・迅速
- ・信頼
- ・STOP 少子高齢海外化
- ・スピード感
- ・生産の集積地
- ・制服
- ・世界に誇るデニム産地
- ・世界に目を向ける。
- ・瀬戸大橋
- ・瀬戸内海
- ・0から作る力。
- ・「繊維の街」
- ・せんい
- ・繊維
- ・繊維関連事業者の集積
- ・繊維産業
- ・繊維産業の集積地
- ・繊維で世界へ。
- ・繊維のまち
- ・繊維の街
- ・繊維の街岡山
- ・染色
- ・大企業とは違った本物志向なモノづくり
- ・宝の持ち腐れ
- ・たくさんの人が一人の為に服を作っている
- ・繋がる
- ・デニム
- ・デニム産地
- ・デニム色
- ・デニムファッション
- ・デニムメーカー
- ・伝統
- ・伝統技術の継承
- ・伝統を守る
- ・日本屈指の繊維県
- ・晴れの国岡山
- ・帆布
- ・人と人との結びつき
- ・人不足
- ・ファッション
- ・服
- ・服作りのテーマパーク
- ・分業による強みもあるがムダも多い
- ・縫製
- ・紡績
- ・マスクingtテープ
- ・未来を創造する力と共生
- ・綿
- ・綿花
- ・モータリゼーション
- ・物作り
- ・ももたろう
- ・桃太郎
- ・ももたろう発祥の地
- ・由加山
- ・ユニフォーム
- ・歴史

## 産地の理想の形は？①

- ・ アパレルは非常に厳しい状況であるが、技術をもった職人さん、その職人さんを見て今の子ども達にも目指してもらえそうな環境づくり
- ・ どの会社でも若い人がたくさん働いていて、明るく楽しい雰囲気職場環境が実現されている産地
- ・ 若い人たちが参入しやすくする
- ・ 若年層が魅力を感じて働きたくなる繊維産地
- ・ 多様性を顕在化させ、グローバルに興味を持たれる技術者集団を育て定着させる産地、チャレンジを応援できる産地
- ・ 産業を活性化しながら住みやすい町にしていく
- ・ 若い人材がもっと働きやすい産地に
- ・ 人の定住、観光客を呼び込む店、宿を増やす
- ・ 今まで以上にモノづくりが好きな人に産地に定住してもらい、産地の良さを知ってもらう
- ・ 若い世代が自分たちの将来を考えたときに、その選択肢の一つになるような魅力的な職種になることが理想。そのために私たちが人材育成できるような余裕をもって働けるようになれるといい
- ・ 若者が働きたいと思う地場産業になってほしい
- ・ 働いた分だけ報われる
- ・ 住みやすく働きやすい地域
- ・ 年齢問わず働ける環境、技術の伝承
- ・ 子供から大人まで繊維に携われる街づくり。技術者の移住支援。子供への教育。
- ・ 働きやすい環境の中、下の世代への技術継承
- ・ 適正価格、適正販売で衣服の価値を向上させ、若手が働きたくなる誇りを持てる業界に
- ・ 若手の職人の育成を行う
- ・ 住みたい・働きたい街づくり。魅力ある街づくり
- ・ 専門領域の製品が売れ、人手不足の生産面の心配なく、会社が発展
- ・ 若い働き手が集まり、製品が注目され、観光地として栄え、産業として成立すること
- ・ 若者の就業率向上に伴い繊維産業の活性化
- ・ 人が集まる魅力のある町
- ・ 人が集まる街
- ・ 誰にとっても起業しやすい産地であること。また、従業員として働く場合でも豊かな生活ができるという状況にあること
- ・ ジャパンクオリティの継承
- ・ 活気ある服飾産業の継続
- ・ もう一度中、小含めた業界の活性化
- ・ 住みたいと思われるような街、活気のある街に
- ・ 活気あふれるまち

## 産地の理想の形は？②

- ・若い人中心の活気ある産地
- ・行政が方向性を指し、各社が協調して努力する
- ・ウィンウィンの形
- ・企業間が力を合わせやすいコミュニティになっており、産地製造企業は地元にも愛され、外部からの人にもフレンドリーであること
- ・三方善し
- ・異業種との共存
- ・業界内の壁を越えたワークシェアの実現、国や行政の支援による移住者誘致
- ・他の繊維産業とのつながりを深める事での活性化
- ・同地区の繊維産業企業同士で協力して新しいモノづくり
- ・さまざまな企業が協力し合える産地
- ・業界全体での発展。協力し合える精神
- ・メーカーの垣根を超えたモノづくり
- ・様々な企業が協力し合える産地
- ・産官学が連携して地域を活性化していきたい
- ・みんなで協力して課題に取り組む体制
- ・産学金がうまく連携している姿
- ・一般の人が「面白い服、個性的な服がほしい」と思った時に「児島に行こう」と頭に浮かんでくれるような産地
- ・全国の人に「豊かでよいお買い物をするなら児島に行こう」と言ってもらえるのが理想
- ・ブランド化
- ・岡山に来る理由になる。デニム、制服で地方の活性化
- ・地域・産地のみんなが協力をし、新たなヒット商品が生まれる産地。まただれもが訪れたいと思うおしゃれな地域
- ・メイドインオカヤマがアパレルではメイドインジャパンより信頼される期待されること
- ・よりデニムといえば児島と言われるようになりたい
- ・繊維産業が盛り上がり、全国から観光や移住などが増える
- ・世界に向けての生産地
- ・産地をブランド化し世界に発信
- ・今まで以上に、海外での認知度を上げる事
- ・繊維産業として持続可能しながら、今まで以上に海外市場へも展開していく
- ・企画力、素材力、技術力、発信力、販売力を充実させ、世界から注目される産地
- ・ジーンズ加工の情報発信地。こじまから世界へ
- ・多種多様な会社が協力し世界へ制服を広めたい

## 産地の理想の形は？③

- ・岡山でつくられたものが、日本中、世界中の人の日常生活に欠かせないアイテムの一部になって欲しい。
- ・国内から海外へシェアを拡大し、取引先の数を増やし、売上アップ
- ・時代の要請に応じた地域ブランド化。産地の活性。海外進出
- ・モノづくりの工程で環境に悪影響を与えない
- ・生産も販売も強い産地。繊維業に従事する全ての人が繊維業に誇りをもてる産地
- ・大量生産のアイテムにクオリティを追いつかれない
- ・各社が目指してきた繊維産地の中の特徴をさらに特化し、ナンバーワンを追求
- ・より未来志向の物づくりをしたい
- ・産地全体が盛り上がり潤った状態
- ・100年後も繊維の岡山（児島）と呼ばれたい
- ・活力ある生産現場を取り戻し、高い生産力で高い品質を作りこむ
- ・魅力ある製品作り
- ・長年受け継がれた技術を残しつつ新しい技術も取り入れ、世界に誇れる産地へ発展していくこと
- ・ゾーンで繊維産業拡大
- ・一年を通しての仕事の平準化。岡山の観光名所の1つとなるもの
- ・地域色とグローバルスタンダードの両立
- ・近場で全ての工程を完了させ生産したい
- ・地産地消で雇用と地域の発展
- ・繊維産業の発展
- ・歴史と伝統を未来へ繋げる
- ・歴史ある繊維産地なので「古き良きを知る」そういう精神を極める
- ・日本の文化、学生服文化のあり方を考え、企業の得意分野を伸ばす
- ・子供が沢山いて制服文化を残したい